

保険税率改定の背景について

保険年金課

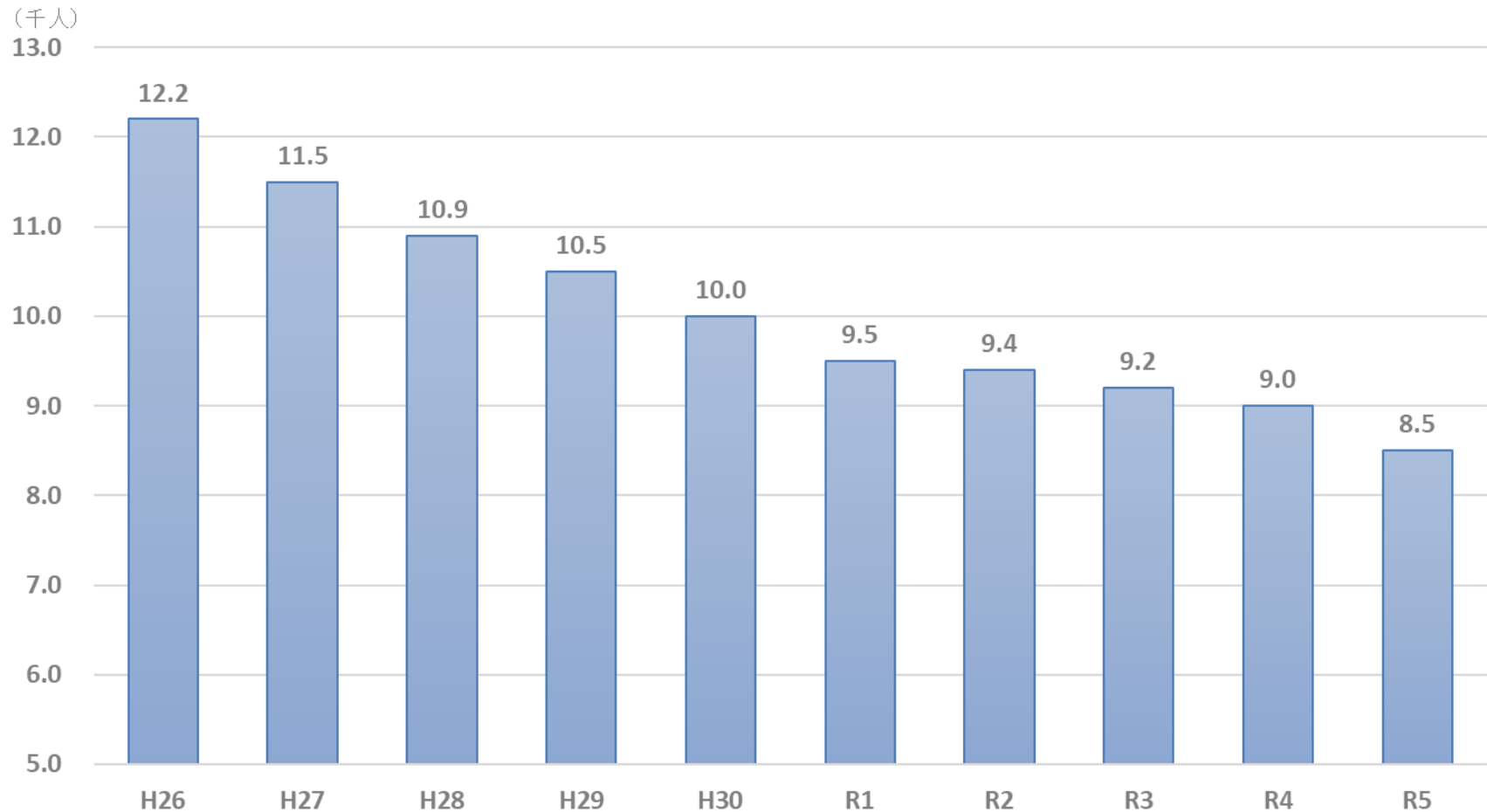


郡上市国民健康保険税について

国民健康保険(国保)は、病気やけがに備えて加入者のみなさんが保険税としてお金を出し合い、お医者さんにかかるときの医療費の補助などにあてる助け合いの制度です。

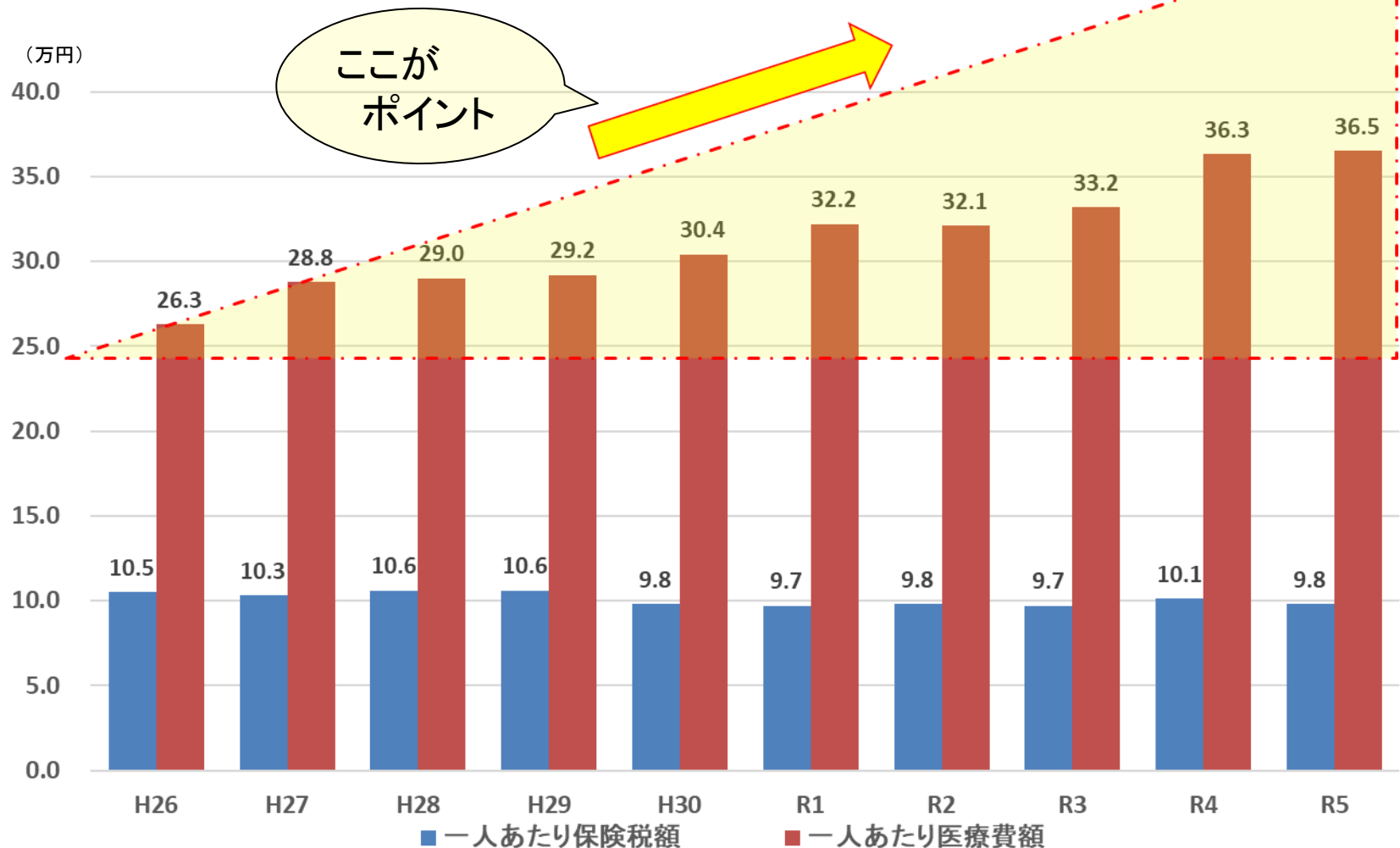
郡上市の国保の財政状況は国保加入者が減少していることから保険税収入が減少し、また高齢化や医療の高度化により一人あたりの医療費は増加しているため、非常に厳しい財政運営が続いています。収入不足分については、国民健康保険基金を取り崩し運営を行ってきましたが、その基金もほとんどなくなった状況となりました。また将来的に岐阜県内市町村の国民健康保険料(税)の統一化を図ることを目的に県から標準保険料率が示されており、これまでの郡上市の保険税率はこの標準保険料率を大きく下回っている状況です。

国保加入者数の推移



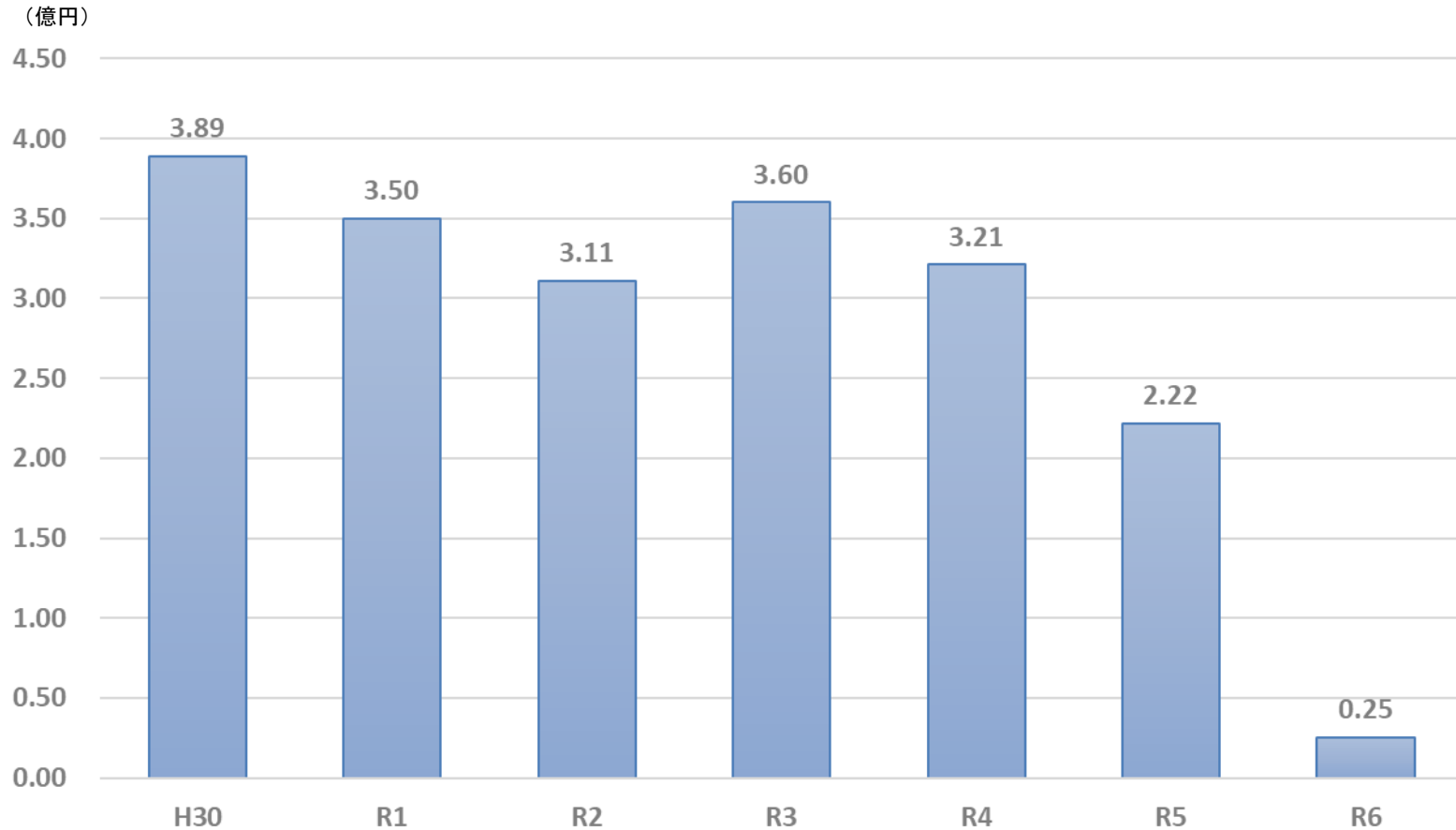
団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行や社会保険の適用拡大などにより国保加入者数が大きく減少しています。

一人あたりの医療費と保険税額の推移



・高齢化や医療の高度化などの要因により、一人あたりの医療費は平成26年度から令和5年度の10年間でおよそ39%増加しています。

国民健康保険基金の推移



収入不足分を国民健康保険基金を取り崩し運営を行ってきましたが、令和6年度末で基金残高は2,500万円となりました。

税率等改定の考え方

今後も国保加入者数の減少傾向や一人あたり医療費の増加傾向は続く見込みです。

国民健康保険の安定した運営と、安心して保険が利用できるよう令和8年度以降も国保特別会計の状況を見ながら税率等の改定について検討していきます。